

子育て支援定住促進住宅整備及び富河地区ランプエリア構想に対するご意見への回答

令和7年8月18日現在

子育て支援定住促進住宅整備について

- ・8月28日、29日には住民説明会を開催する予定です。
- ・住宅政策に関してはすでに並行して実施しているものと考えています。

空き家の利活用に関しても、令和2年から6年度の実績でバンク登録件数42件に対して40件が売買等の成約がされていますので、一定の成果があると考えています。

また、令和4年からはバンク登録により、家財の片付け費用やリフォーム代の一部も助成する事業を構築していますので、その成果であると感じています。ただ、空き家住宅は個人の資産でありますので、行政が関わっていくバランスにも十分注意を図っていかなければなりません。

現時点でも定住促進宅地分譲、空き家利活用対策を実施しており、今回の集合住宅に関しては、移住定住を希望される方々の選択肢を増やし、多様なニーズに応えていくものでもあります。

・南部町の魅力を十分に活かし、10年後へと繋げていく「第3次南部町総合計画」を本年度策定し、その初年度を迎えています。その計画に則ってご指摘いただいている多種多様な取り組みを、各担当課にて担っていくものと考えています。集合住宅建設は、そのうち喫緊の課題として位置づけた少子化及び人口減少への施策であります。

子育て支援定住促進住宅整備場所について

- ・地域住民や社会体育施設として利用されている皆様への説明義務を果たします。

南部町富河地区ランプエリア構想について

・「ランプエリア構想」については、集合住宅整備に伴う住民の皆様からのご意見を集約し、導かれた構想であります。また、子育て世代の賑わいとお年寄りがグラウンドゴルフ等で集える「三世代交流防災広場」となれば、富河地区の賑わいの中心となりえます。さらに、他の立地条件を考えると、まさに「スモールシティ化」にも繋がる可能性を秘めていると考えています。

- ・現時点では、金額も含め予算計上できる段階ではございません。

・「クーリングシェルター」については、水道環境課において指定しておりますので、今後の運用等、さらなる充実を図っていただきたい。現時点での「構想」への取り込みは考えていません。

・安全で安定した場所（子育て支援定住促進住宅）で、次へのステップアップに備え、時期を見計らって町内の分譲地や空き家活用によるマイホーム購入、定住へと着陸していただくイメージで名付けました。

- ・高層階の住宅整備は、考えてはいません。

・小さなお子様が安全に遊べる場所の整備は、子育て世代の皆様からの要望に応え、本施策には必要不可欠であると判断したものであります。お子様の年齢や危険察知レベル等によって遊ぶ場所を選び、教育に活かしていただきたいと考えています。